



与話情浮名横櫛

四編上

榮久堂

午話

情浮名

横櫛

四編

上話

卷

好文化

國芳画

榮久

堂



日月燈江海油風雷鼓板天地一大戲場と漢土帝が聯句を
 して世々演戲盛なりとの中にも古今相記と十種曲のくまを
 奉言としてその人扱亦皇國の舞臺あり天照大神の天岩窟ふかれ
 させのひかり御女命が舞曲これ所作更の始祖あり夫の今下の世に
 つゝ優民の其家いづそ人等手わのらぬあはれ演戲の道と
 綴て業とていふもくも本舞臺三尺の卓ふむひとていふもくもくわら
 幕の明も腰中か不知短衣の窓戸下へれば世界はけりから闇夜の
 磔わたりといふ書つづまうか僥倖と是横櫛の小説も近き小稀
 ある高評の敷ふ入の的とてさうまは急劇編とていふと日々
 夜々小楳元の催促とていふと浪の音敷幕ふむとていふと
 早拵のふきぎらむも勇齋の妙手の筆を呼りの小引返して
 明き口繪の趣向の浄ふりといふとやういふ引

嘉永七甲寅歲次孟春發市

楳田舍好文記





鳴乙女
かめ
子



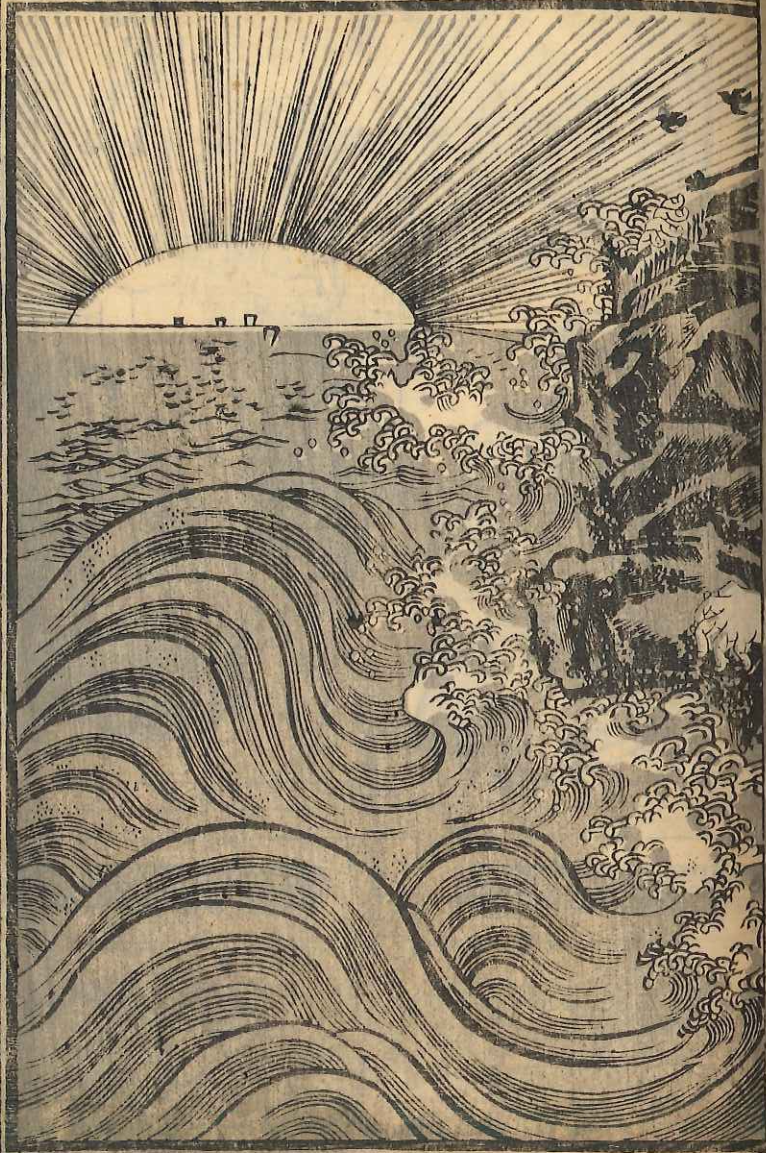
御曹子
かえり
為朝
あさの

松風や
空の
あまの
棋園

其一

鳴乙女
小ぶち

女護
島姫
梅
女薫



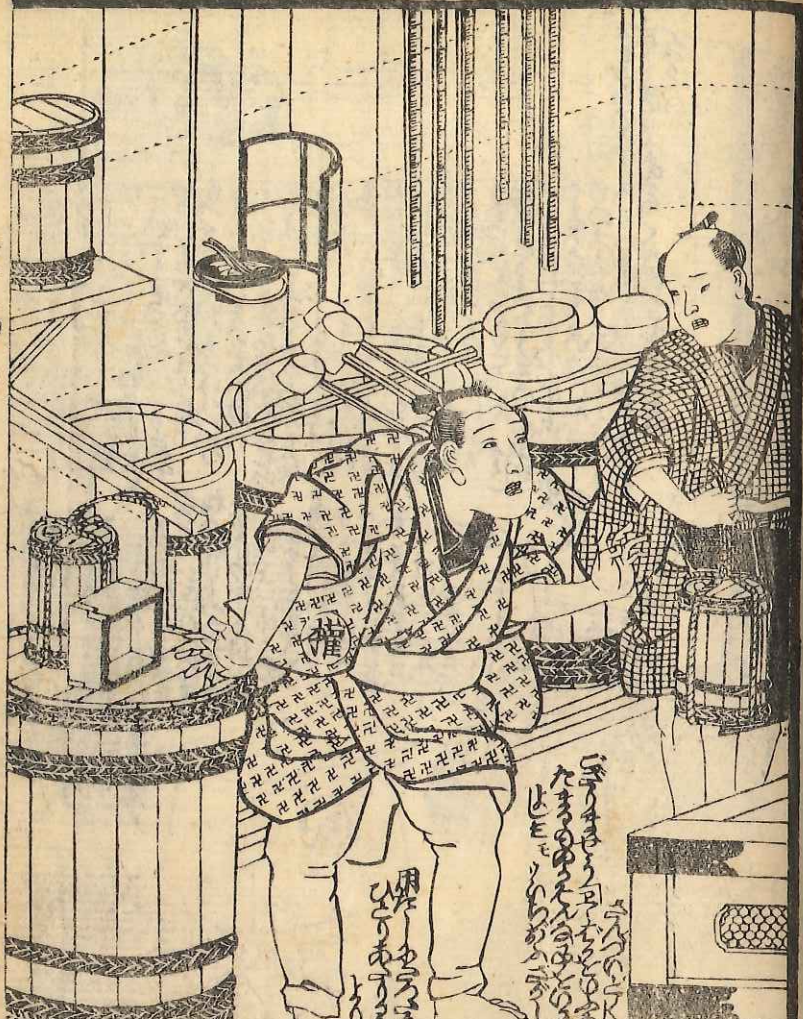
其二

与三郎小船来出
 逆浪小漂以致身命
 急心不思哉
 海中の巖打られ
 再生の想を
 相を拜一東の
 故郷を望





四ノ入り...
 一ノ...
 二ノ...
 三ノ...
 四ノ...
 五ノ...
 六ノ...
 七ノ...
 八ノ...
 九ノ...
 十ノ...
 十一ノ...
 十二ノ...
 十三ノ...
 十四ノ...
 十五ノ...
 十六ノ...
 十七ノ...
 十八ノ...
 十九ノ...
 二十ノ...



一ノ...
 二ノ...
 三ノ...
 四ノ...
 五ノ...
 六ノ...
 七ノ...
 八ノ...
 九ノ...
 十ノ...
 十一ノ...
 十二ノ...
 十三ノ...
 十四ノ...
 十五ノ...
 十六ノ...
 十七ノ...
 十八ノ...
 十九ノ...
 二十ノ...







八犬傳後日譚

五編 出板
六編
七編

為永春水作
一勇齋國芳画

歌 鉞亭
魯文錄
國貞画

當寫殿下

茶屋驛
三冊

御伽譚博多新織

五編 好文作
六編
七編 國芳画

薄紫宇治曙
柳下專種員作
壽齋國貞画

種彦作
豐國畫
仙香 一包大銅
美香 坂本氏

御詠染逢山鹿子

六編

三都妖婦傳

中本袋入
三編出板
四編五編刷刻

笠亭仙果作
一陽齋豐國画

好文作 國芳画



好文作 國芳画
此は、好文作の國芳画、
其の趣、
...

